

研究課題名

薬剤耐性菌をはじめとする性感染症起因菌の分子疫学解析

研究の概要

近年、性感染症起因菌として第一選択薬を含む各種抗菌薬に抵抗性を示す薬剤耐性淋菌が報告されており、また、非淋菌性尿道炎の難病例においては、原因微生物の一つとして薬剤耐性マイコプラズマ・ジェニタリウム関与が報告されている。このため、これら病原体の検出率や薬剤耐性化に関する情報は、蔓延防止対策や適切な治療薬を判断するために重要である。また、性感染症のなかで最も罹患者が多い性器クラミジア感染症の原因菌であるクラミジア・トラコマティスについて、都内における伝播の状況を明らかにすることは性感染症対策を講じる上で極めて有用である。本研究では、東京都内で伝播する性感染症起因菌の分離培養法を検討するとともに、収集した病原体株および臨床検体について薬剤感受性試験や薬剤耐性遺伝子変異の検出、遺伝子型別試験を行う。これらの分子疫学解析により、性感染症対策の上で有用な情報を提供する。

研究対象者は感染症発生動向調査事業の定点医療機関受診者、国立国際医療研究センターの外来診療受診者であり、診療情報を利用する。また、分離済みの病原体株ならびに臨床検体（尿、尿道擦過物、子宮頸管擦過物、肛門擦過物）を研究材料として用いる。

研究期間

令和3年度から令和5年度まで

研究機関の名称及び研究機関の長

東京都健康安全研究センター
所長 吉村 和久

研究責任者の氏名

微生物部病原細菌研究科
水戸部 森歌

オプトアウト

「保有個人データの研究使用の停止申請」により当研究から除外が可能である。